

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 7 No 04

6 9 号

平成11年 4月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

ADHDって、知っていますか

院長

今回は、最近話題になることが多いADHDについて、考えてみましょう。

ADHDという言葉を知っていますか。ADHDは、Attention Deficit Hyperactivity Disorderの略で、日本語では注意欠陥多動障害と訳されています。最近、どうもこのADHDという言葉自体、独り歩きしているように思えたりしません。

ではADHDとは、どんな状態を指すのでしょうか。この状態（病気）の診断の基準は、「年齢に比べて、多動で落ち着き無く、情緒不安定で、衝動的な行動をとりやすい子ども」とされています。でもよく考えてみてください。多動で落ち着き無く、情緒不安定で、衝動的な行動をとるといふのは、幼児期ではごく当たり前のことです。3～4歳ぐらいの子どもに落ち着きなさいと言っても、なかなかできません。ましてこの年齢で落ち着いて見えるような子どもの方が、ちょっと心配な気もします。突然車の前に飛び出すような衝動的な行動も、この時期に珍しいことではありません。一つのことに集中しすぎて、ほかの注意が散漫になるのも同じです。見方を変えれば、ほとんどの子供たちが、この範疇に含まれてしまうのです。

マスコミで学級崩壊などが報道され、その原因としてADHDが指摘されています。そして、ADHDに注目が集められるようになったのです。幼児期の正常な反応までADHDとされてしまい、周囲から異常だと見られるだけでなく、親御さんまで気にすることになるのです。雑誌やテレビなどでADHDの言葉が出てくるたびに、不安が増してしまうのです。そしてまだ見ぬ将来の姿まで、心配になってしまうのです。

学校教育の場では、学級崩壊や学習障害などの問題があるのも確かです。ADHDの症状として最も多いのは、注意力散漫です。この注意力が散漫で、ものに集中できないこ

とが、学習能力に影響を及ぼし学習障害と呼ばれる状態に結びつくこともあります。年齢的な変化をみると、幼児期に多動で注意力がなく衝動的で不器用だった子どもが、学習上の問題が見られ、孤立やいじめの対象となったり、暴力や非行への経過をとることもあります。

昔から落ち着きのない子というのは、いっぱいいました。何を隠そう小生も、小学校の通信簿に落ち着きが無いと書かれたものでした。ADHDの診断は難しく、普通の小児科医ですら簡単にできるものではありません。まして年齢が低くなればなるほど、診断は難しくなるのです。またある時期の一点で診断できるものではなく、経過を追うことによって診断が確定されることも多いものです。しかしADHDを疑われた子供たちの多くは、成長とともに次第に幼児期特有な反応が目立たなくなります。またADHDと診断された子供たちでも、経過は比較的良好で、次第に問題が無くなることも多いようです。確かに中には学習障害に結びついたり、大人になっても問題を引きずる例があることも確かです。

ADHDの診断が確定された場合には、早期の治療が必要です。治療には心理的療法と薬物療法があり、効果を上げています。

大切なことは幼児期の正常な反応か、ADHDなのかです。印象や他人の言葉でADHDを心配するものではなく、心配であればまず小児科医に相談することが大切と考えて欲しいと思います。くれぐれも飛び交っている様々な情報に左右されないように！。ほとんどは正常な反応なのでから。



栄養・育児相談の御案内

今回、雪印乳業の全面的な協力により、新しい形でスタートすることになりました。ミルクや離乳食のサンプルやパンフレットも、豊富に準備しています。

毎週水曜日 13:30～14:30 参加無料

午後臨時休診のお知らせ

・後輩の結婚式のため、4月10日(土)は午後休診なお翌日4月11日は、在宅の休日当番です。何かありましたら、御利用ください。

・日立総合病院・新生児集中治療室同窓会(日立市)のため、4月24日(土)は、午後休診となります。ご理解の上、ご協力お願いいたします。

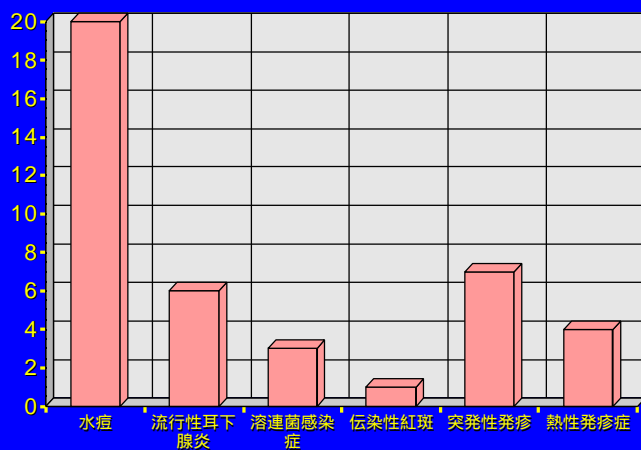
4月のお知らせ
午後臨時休診
ポリオ予防接種当番のため
4月20日(火)は
14:00～16:00まで
休診となります。
健診・予防接種はありません。

読者の広場

3月・4月というのは、寂しい季節です。暖かくなってきているのに何を、と言う方もいるかと思います。しかしこの時期は転勤の季節なのです。当院で長くなれ親しんだ子供たち、そしてお母さん達が引っ越してしまうのです。名残惜しそうにされると、とても困ってしまいます。「引っ越したからと言ってもうこの患者であることは変わらないから、何かあったら遠慮なく相談していいよ。大丈夫うちの様な病院が、必ず近くにあるから安心しなさい。」と言うことにしています。転勤で転居する患者さんから手紙を頂いたので、一部紹介します。青葉区子平町（遠くですよ）の徳重さんから頂いた電子メールです。「いつもお世話になっています。徳重ひな子の母です。この度、主人の転勤で東京の練馬区に引っ越すことになりました。先生には、大変お世話になり、おかげさまで、ひな子のせきもおさまっています。せっかく良い先生にめぐりあえたと思っていましたので本当に残念です。短い間でしたが、ありがとうございました。先生もどうぞお元気で。」。また写真と便せん4枚に渡る手紙を青葉区中江の木内さんから頂きました。長いのでほんの一部を紹介したいと思います。「川村先生、ありがとうございました。まだまだ先と思っていた引っ越しの日がついにやって来てしまいました。半年まえ、転勤が決まったと夫に告げられた時、まず思ったのが“かわむらこどもクリニック”とお別れなんだ...ということでした（以下略）」。この後は、こちらが恥ずかしくなるぐらいの当院や小生そしてスタッフに対する感謝の言葉が述べられています。また最後に朋美ちゃん（お子さんです）が、夜になる言う言葉として次のように書かれていました。「“川村先生じゃないといや。先生も一緒に船橋に引っ越せばいいのに”。私だって同じ気持ちです！！。引っ越しを告げて以来、毎晩枕をぬらす娘です。友人たちに“かわむら先生は連れていかないでね”と言われてます」。お母さんの気持ちが、ひしひしと伝わってきます。本当にありがとうございました。



3月の感染症の集計



お母さんクラブ会員募集のお知らせ

新年度になり、今年も『お母さんクラブ』を続けます。新規に会員募集したいと思います。会員の方には案内を郵送します。その他の方は、詳しくは院内掲示をご覧ください。

3月は、またインフルエンザが大流行でした。B型のウイルスが分離され、高熱、咳や鼻水のほかに、下痢や嘔吐などの消化器症状が特徴でした。熱以外にあまり症状もなく、長く続くこともありました。しかし後半からはだんだん減少してきています。水痘がまた増加しているようです。特に保育園や幼稚園で多く見られています。一時減った印象の流行性耳下腺炎も、なかなか無くなりません。

知り合いの先生（宮城県以外）から、麻疹の流行と重症患者の情報が入ってきています。麻疹は、いまだに命にかかわる病気です。ともかく、まだ済んでいないお子さんは早めに予防接種を、受けてください。

ポリオ予防接種のお知らせ

対象者

第1回 平成10年7月1日～12月31日生れの児

第2回 平成10年10月に1回目の投与を受けた児

その他 投与を延期していた90ヶ月までの児

受付時間は午後1時30分～3時です。（ただし泉区は2時30分まで）左の表は一部です。載っていない住所の方は、看護婦にお聞きください。都合の悪い場合は、日付と接種場所の変更が可能です。

院長は、4月20日（火）青葉区保健福祉センターが、接種担当です。都合のつく方は、当日おいで下さい。他の区や住所でも、当日予防接種が受けられます。会場で待っています。

地区名	実施月日	曜日	実施区域	会場
青葉区	4月16日	金	北仙台、東六、上杉	青葉区保健福祉センター
	20日	火	立町、東二	青葉区保健福祉センター
	21日	水	台原、旭ヶ丘	青葉区保健福祉センター
	5月12日	水	荒巻	青葉区保健福祉センター
	14日	金	北六、小松島、中江	青葉区保健福祉センター
宮城野区	4月13日	火	幸町南	区役所6階ホール
	14日	水	鶴ヶ谷、鶴ヶ谷東	鶴ヶ谷市民センター
	21日	水	燕沢、栢江	区役所6階ホール
	5月6日	木	原町	区役所6階ホール
	11日	火	新田、幸町	区役所6階ホール
泉区	4月20日	火	黒松、旭丘堤、真美沢	区役所東庁舎5階
	21日	水	加茂、七北田、上谷刈	区役所東庁舎5階
	22日	木	南光台、南光台東	区役所東庁舎5階
	23日	金	泉中央、歩坂町	区役所東庁舎5階
	27日	火	八乙女、鶴ヶ丘	区役所東庁舎5階

編集後記

3月はB型インフルエンザの流行で、また大混雑の日々でした。待ち時間を含め、迷惑をおかけしたことと思います。転勤の時期でお母さん方も残念でしょうが、本音を言えば小生も残念な気持ちは同じです。当院は手紙を頂くようなお母さん達に支えられていることを、また強く感じました。

